



KOKULABO FUTURE CENTER

WHAT'S KOKULABO?

KOKULABOとは？

教育現場と地域社会の交点として、学生と社会人が共に地域の問題解決を行うことを目的に、静岡県立大学国保祥子研究室(KOKUBO-LAB)が主宰する研究・教育活動です。フューチャーセンターやプロジェクトを通じて、企業や個人が持ち込む課題に大学生が取り組んでいます。

プロジェクトとは？

KOKULABOでは、地域の企業と共同で問題解決型のプロジェクト型学習を行っています。NPO法人ESUNE様のコーディネートにより、年間10程度のプロジェクトテーマにチームや個人で取り組み、調査に基づいた提案を行います。具体例は裏面をご覧ください。

フューチャーセンターとは？

複雑化している地域社会の問題に対して、様々な立場・年代の参加者を募り、対話を通じて新たなアイデアや解決策を創造するワークショップです。フューチャーセンターでは、「未来思考」「多様性」「対話」の3つを大切にしています。

KOKULABOフューチャーセンターとは？ GOOD DESIGN AWARD 2019

企業や個人が持ち込む課題に対し、全ての企画運営を学生が務める日本初のフューチャーセンターです。多様な価値観を持つ参加者がフラットな立場で対話をする事で、より良い未来に繋げる場を学生ファシリテーターが作ります。2011年9月から、これまで250回以上開催しています。2020年度はコロナ禍により全てオンラインでの実施でしたが、県内外から多くの方にご参加頂きました。2019年 Good Design 賞（教育・推進・支援手法）を受賞。

MORE INFORMATION

企業様・団体様からのプロジェクト依頼、お待ちしております！

※依頼方法など詳細は裏面にてご確認ください



Kokulabo



@kokulabo



<https://kokulabo.com/>



KOKULABO ANNUAL REPORT 2020

PROJECT プロジェクト

『空き家問題の調査と提案』

篠原佑奈 (11期生) × 空き家買取専科(株式会社Sweets Investment)様



社会問題となっている空き家問題を解決するために、問題構造の分析や所有者が空き家を手放さない要因をロジックツリーで整理して調査しました。専門家へのヒアリング、民間企業がアプローチしづらい潜在顧客層130名以上へのアンケートやデブインタビューを実施し、空き家所有者に向けたプロモーションを提案しました。

『学生ボランティア増員作戦』

高市祐美 (11期生) × コミュニティ・ユース・バンク momo様



東海地域初のNPOバンクであるmomoは、近年は学生ボランティア(momolenジャー)の不足という問題を抱えていました。大学生への意識アンケートを元にニーズを明らかにするとともに、ボランティア経験者へのインタビューからmomolenジャー経験の魅力を分析し、解決のための具体的な仕組みの提案を行いました。

『新たなリモートスタディを提案!』

熊谷晴子、篠原佑奈、
下田善朝 × 株式会社富士通
ソフトウェアテクノロジーズ様

コロナ禍により大学での講義がリモートで行われました。その実体験と学生への調査を元に、リモートの利点を活かしたより学習効果の高い次世代サービスを提案しました。

『コロナ禍での顧客コミュニケーション』

後藤ひなの、高市祐美、
宮崎靖也 × 株式会社
アルバイトタイムス様

コロナ禍で、顧客に対するより質の高いコミュニケーションを改善するために、営業社員へのアンケートとインタビューからオンライン営業マニュアルを作成し提案しました。

『効率的な人材紹介サービスの販売』

熊谷晴子 (11期生) × 株式会社
アルバイトタイムス様



人材紹介サービスを効果的に販売するために、求人が発生するニーズの一般化と、営業プロセスとプロセスごとのキーポイントの整理をし、手元に置いて見やすいハンドブックにまとめました。

『さくら棒をバズらせたい!』

後藤ひなの (11期生) × 株式会社
大黒屋商事様



静岡名物のピンクの麩菓子「さくら棒」の新しい食べ方のアイデア出しから、仮説を元にしたバズリテストを実施し、バズるための施策と継続販売の施策を提案しました。

『コロナ禍での宿の情報掲載文を提案!』

下田善朝 (11期生) × NPO法人ローカル
デザインネットワーク様



民泊利用者や実際の宿泊者へのヒアリング調査を基に、コロナ禍でも安心して訪問できる宿としての魅力を伝えるための旅行予約サイト掲載文を提案しました。

『フィリピンの日本語学校、日本市場を開拓』

宮崎靖也 (11期生) × Asahi Language Support
Service Cooperation



オンライン日本語教育サービスを日本国内の企業にも届けるため、企業の元人事担当の方や日本語講師の方にヒアリングを行い、ターゲット市場の明確化とアプローチ方法を提案しました。

Graduation thesis 卒業論文

『上司の非公式支援と出産後女性の仕事意欲』

小野義虎 (10期生)



出産後の女性従業員の「意欲的な就業継続」と、上司の非公式なワークライフバランス支援との関係に着目して研究しました。

『組織社会化における"観察学習"の影響』

田中真愛 (10期生)



リモートワーク下の観察学習が、新卒リモートワーカーの組織適応にどう影響するのかを20名以上へのインタビューから調査しました。

『学生の意欲と他者から受けるサポートの関係』

中村文哉 (10期生)



大学のゼミ活動への意欲と、教員や同期から受けるサポートとの関係を調査。周りからのサポートが意欲に影響することが分かりました。

『男性が育児しやすい職場の雰囲気要因』

丸山いづみ (10期生)



男性が育児しやすい職場の雰囲気には何が必要なのかを明らかにするために、アンケート調査、インタビュー調査を行いました。

『キャリアレジリエンスを向上させる要因』

丸山将央 (10期生)



「自省」によって大学生の「キャリアレジリエンス」が高まるのかを明らかにするために、インタビュー調査とその分析を行いました。

『女性の活躍意欲と性別役割分業意識の関係』

山本さくら (10期生)



女子大学生の活躍意欲(昇進意欲と就業継続意欲)と、本人や家族の性別役割分業意識の関係をアンケートによって調査しました。

How to contact プロジェクト依頼方法

1

Webサイトから
ご連絡



2

事務局よりご連絡後、
内容のお打ち合わせ

3

プロジェクト実行
(依頼料5万円~)